
男女共同参画・若手支援委員会企画シンポジウム
キャリアデザインの第一歩
—大学院生・研究者のための自己分析ワーク—
Academic Self-Analysis Workshop on Career Development

オーガナイザー：日本生物物理学会 男女共同参画・若手支援委員会

Organizers：Promotion of Gender Equality and Young Researchers Committee

日時：11月25日（金）11:45～12:35（ランチョンセミナーの時間帯）

会場：Y会場（小会議室 304）

昼食：お弁当とお茶を無料で提供いたします。ただし、数に限りがあります。

形式：ワークショップ（各自、筆記用具をご準備ください。）

概要：自身のキャリアを想像しキャリアアップの準備を進めること、すなわち「キャリアデザイン」を早期に行うことは、後悔のない人生設計のために非常に重要です。そこで今回は、キャリアデザインの最初のステップである「自己理解」をみなさんに実践していただくために、「大学院生・研究者のための自己分析ワーク」を体験できる企画をご用意しました。このワークは大学院生や研究者のためのキャリアアップ支援団体、Tokyo Ph.D. Lounge（TPL）が【研究者専用】に独自に考案したものです。大学院生活や研究生活を分析の主な軸として、キャリアを考える上で重要となる自分の強みや価値観を探ります。本企画を監修する TPL 代表の筒井香織さんは、生物物理学会出身の元研究者ですが、産業カウンセラーの資格を取得し、現在では大学でのキャリア教育や就職支援に携わっています。TPL では、先輩博士によるセミナーとグループワークで構成される「博士キャリア座談会」を定期的で開催し、アカデミック人材の自主的なキャリア構築をサポートしています。

本シンポジウムでは、参加者のみなさんに実際に「大学院生・研究者のための自己分析ワーク」に挑戦していただきます。当日会場で配布するワークシートの簡単な設問に回答することで、自身の強みや重視したいこと、将来の目標などを分析します。参加者のみなさんには二人ずつでペアを組み、ワークシートの内容をお互いに発表していただきます。自身の強み・価値観を整理して相手に伝え、相手からフィードバックを受けることで、これまで気づかなかった自身の内面や意外な一面の発見につなげることが狙いです。

今回の生物物理学会年会では、この男女共同参画若手支援委員会シンポジウムで「自己理解」を、年会期間中に開催されるキャリア支援説明会で「職業理解」「会社理解」を行います。本シンポジウムとキャリア支援説明会の両方を通じて、みなさんのキャリアデザインをサポートする内容となっていますので、興味をお持ちの方は奮ってご参加ください。